

# 全校ワックス

中村  
勉

女1	相川（班長）	陸上部
女2	飯野	なぎなた部
女3	上田	演劇部
女4	江川	文芸部
女5	大宅	転校生

相川は去年も飯野と同じクラス。飯野は上田と幼なじみ。上田と江川は去年も同じクラス。大宅は最近引っ越してきた。

突然決まった全校ワックスの日、五人のワックス作業班が集まった。学校というところは、ほんとうにもう、なんともいうかもう、私たちを試すようなことばかりする。

## Ⅰ プロローグ

チャイム

音楽

飯野、上田、話しながら入ってくる。

上田 だから無理だって。

飯野 だってむかつく。

上田 むかつくからって、最近そんなことする人いないよ。

飯野 みんなしないの？

上田 しないよ！

飯野 古い？

上田 古いよ。

飯野 いいや古くても。どっかに呼び出そう。場所どこにしようかな。つき合ってね。

上田 やだよ！

飯野 むかつく。すげー！

上田 無視すれば。

飯野 ダメ、できない。

上田 あー。

飯野 しょうがない。シメよう。

上田 シメるって、そんな、クラシック。

飯野 クラシックでもいい。ああ、シメたい。シメてしまいたい。

上田 そんな。鯖じゃないんだから。

飯野 何それ。だれがうまいこと言えつつた。

上田 シメるのは鯖だけにして。

飯野 いやシメる。

上田 なにがそんなに嫌なの。

飯野 もう、なんだかんあーて。

上田 何、んあーて。

飯野 もしくはぐおー。もうあの声聞くともう。

相川、入ってくる。

相川 早いね。

飯野 うん。

江川、入ってくる。

江川 どうもー。

飯野 あ、どうも。

大宅、入ってくる。

大宅 あー、みんな早い。

飯野 んあー。

上田 ちよつと！

大宅 なに？

飯野 ぐ。(気を取り直して) さあ始めよう。

相川 はいはい。

相川、**凶面**を見る。

相川 ここからね、あそこまで。あの、廊下の端。

飯野 どこまで？

相川 あそこ。

飯野 あそこ？

相川 あそこだよ。

大宅 広くない？

相川 広いね。

大宅 広い。間違いない？

相川、図面を見直す。

相川 間違いじゃないよ。

大宅 あたしたちだけこんなに広いの？

相川、図面を見る。

相川 一番広いけど、他の班も同じようなもんだよ。

飯野 こんなどこ使ってるの？

上田 来たことないね。

相川 全校ワックスだから、使っても使ってなくてもワックスかけるんじゃないの？  
飯野 人が来ないところキレイにしてもしようがないのに。

上田 しようがないよ、全校ワックスだから。

大宅 前の学校こんなことしなかったよ。あたしやったことない。

飯野 ここはやるんだよ。

飯野 早くやって早く終わろう。

相川 じゃ、準備しよう。

口々に返事をして、袖から清掃用具を持ってくる。

相川 (上田に) 飯野、何だって。

上田 シメたいって。

相川 シメるってそんな。

上田 クラツシック。

相川 そうクラツシック。

上田 ほんとクラツシック。

相川 あの人？

上田 うん。

相川 ほっとけばいいのにね。

上田 うん。

相川 だいじょうぶだよ。

上田 うん。

二人も用具を運ぶ。

## 2 説明

音楽

5人は清掃用具を準備する。

モップ掛け（キャスター付き）

モップ多数

ワックス容器

ぞうきん

たわし

デッキブラシ数本

ほうき

などを持ってくる。

飯野 はい、バケツあったよ。

相川 はい。

上田 はい、バケツあったよ。

相川 はい。

江川 はい、バケツあったよ。

相川 こんなにいららないよ。

大宅 はい、バケツですよ！

相川 多いよ！



飯野 多いって！

大宅 あ、ごめん。

上田 はじめようか。

相川、前に出る。

相川 (紙を見ながら) 説明します。

全員 はい。

相川 指定区域はこの廊下の端から端までです。

大宅 広い。

相川 はい、広いですね。

全員、廊下の端を見る。

飯野 しょうがないね。

上田 うん。

相川 まず、ほうきではいて、洗剤をまいて床を磨く。前のワックスを落とすんだって。で、洗剤をふき取って、ワックスをかける。最初はすごく薄くかける。

飯野 最初は？

相川 で、待つ。

大宅 ね、この班人数少ないと思わない？

相川 で、ワックスが乾いたら二度目を塗ります。

全員 はい。

飯野 二度塗りね。

相川 では、作業開始。

全員 はい。

### 3 掃き掃除

ほうきをとって全員で掃く。

飯野 (上田に) ねえねえ。

上田 何。

飯野 今日ワックスだって知ってた？

上田 知らなかった。

飯野 いつ決まったの。

上田 知らない。

大宅 (相川に) いつ終わる？

相川 知らないよ。

大宅 人数少ないよね。

相川 他のクラスもこんなもんだよ。

江川 今日先生いないの？

相川 出張。

大宅 ありえない。

飯野 ありえないありえない。

上田 なに？

飯野 雨が降ってもありえない。風が吹いてもありえない。

上田 なにそれ。

飯野 ありえないってこと。よくあるってこと。

江川、外を見る。

江川 雨？

相川 雨？

江川 雨だ。

飯野 え？雨。

江川 小降り。

飯野 小降りか。今日走るかなあ。

相川 今日、外練？

上田 外練って何？

飯野 武道場の順番後半だから。

上田 外練習か。

飯野 ランニングしたくない。

相川 毎日やってる身になれ。

上田 そうだよ。

大宅 そうだよってやってるの？

上田 やってますよ。

大宅 演劇部でしょ。走るの？

上田 走りますよ。走らないと声でないから。

大宅 えー！演劇部って走るの？

上田 だから走るって。

飯野 えー！演劇部って走るの？

相川 何それ。

飯野 いや、ちよつと。

上田 走るよ。

大宅 何周？

上田 三周。

飯野 え？

上田 三周。

相川 結構走るじゃん。

大宅 三周って何キロ？

上田 一周約一キロだから、3キロ。最初は全然ついていけなかったけど、毎日やるとなんか走れるね。  
大宅 なんでそんなに走るの？

上田 運動部もつと速いし、からだ強くないと声でないから。なぎなたとかもつと走るんでしょ。

飯野 うん。五周かな。でも週三日。

上田 ねえ。陸上は？

相川 あたしたちトラックだから。

上田 あ、そうか。

大宅 演劇部って走るんだね。

上田 うん。

大宅 大変でしょ。

上田 もう慣れた。

大宅 走らないと声出ないの？

上田 けっこう出るようになった。

大宅 ふーん。

飯野 いい声だよ。低くて。

江川 なぎなただつてすごいじゃん、声。

飯野 ああ、「籠手ー！」とか。

江川 武道場の横通るとさあ、驚くよね。

飯野 声出さないと、まず。

江川 あのさあ、なんかときどき「せー」とか言うのなんて言ってるの。

飯野 「せー！」？

江川 「せねー！」かな。

飯野 あ、分かった。「すね」だ。

大宅 「すね」？

江川 「すね」って何？

飯野 「すね」だよ。ここだよ。

江川 すねって、打っていいの？

飯野 いいよ。

江川 こわ。

飯野 ほうきを構えて。

飯野 えい！

江川 うわ。

飯野 なかなか身のこなしがいい。じゃ、上田さんにも。えい！

上田 やめてよ、もう。

大宅 すごーい！かっこいい。

飯野固まる。

大宅 袴とかはくんでしょ。なぎなたってすごい。

飯野 まあね。

相川 ふざけてないでやろうよ。終わらないよ。

飯野 はいはい。

大宅 はい。

相川 江川さん、向こうやろう。

飯野、大宅を見る。

大宅 (飯野に) なぎなたって初めて見た。

飯野 これ、ほうきだから。

掃除をはじめ。

大宅 (上田に) ねえ、すごいよねえ。前の学校、なぎなた部なかったから、びっくり。

上田 飯野は関東大会行ってるんだよ。

大宅 えー、すごい。

上田 小学校からやっててさあ。

大宅 へえー、よく続けられるね。あたし無理。

飯野 上田さん。ちよつと。

上田 何？

上田、飯野のところへ行く。

飯野 あのさあ、話掘り下げないでくれる。

上田 え？

飯野 いやいいけど、だれと何話しても。

上田 ああ。

飯野 ね。

上田 嫌いなんだ。

飯野 このまま行くとなんか何とか星から来ました、とかいいそうじゃん。



上田 そう？

飯野 あの声で「 が好き、とか、「 命とか、「 萌え、とか始まると思うとさあ、このへんむずがゆくなつてきてさあ。

上田 飯野。

飯野 なに。

上田 くわしいじゃん。

飯野 何を、そんな、くわしいわけないじゃん！

相川 (袖から) ちりとり持ってきてー！

大宅 はーい。大宅行きまーす！

飯野 何！

飯野、ほうきを振り上げる。

上田 なぜ怒る？

飯野 ダメなんだ。高い声が。

大宅 こっち終わったー！

飯野 おおー！

大宅 ちりとりいる？

上田 ありがとう。

大宅　ねえ、夜寝てたらこびとさんが全部ワックスかけてくれてたらいいと思わない？  
飯野　うおー！

飯野、ほうきを振り上げる。

上田、止める。

相川、帰ってくる。

相川　何してるの。

上田　大宅さん、今のわざとでしょ。

大宅　（低い声で）あー、びっくりした。

全員低い声に驚く。

上田　大宅さん。

大宅　（低い声で）え？

上田　声、低いじゃん。

大宅　（低い声で）そう？あ。（高い声で）そう？

上田　地声はどっちなん？

全員大宅を注目する。

大宅 ばれてしまいましたね。

飯野 えー！

上田 大宅さん、それ。

大宅 (高い声で) 気にしないで (低く) くださいね。

飯野 えー！

相川 続けようか。

飯野 えー！

大宅 本当に気にしないでくださいね。

上田 何だったんだ？

飯野 シメる理由がなくなっちゃった。

上田 じゃもうやらないね。

飯野 もうしないもうしない。

相川 シメない？

飯野 なんで知ってるの？

大宅 シメる？

飯野 なんでもないなんでもない。

大宅 シメるってなに？方言？

飯野 方言方言。

大宅 へえ。

飯野 方言。

大宅 どんな意味なの？

飯野 え？

上田 あのと、さぼるって意味。

大宅 へえ。シメるってさぼるって意味なんだ。

飯野 え？そうそう。

大宅 じゃ、みんなシメないでね。

上田 うん。(飯野に)

飯野 うんシメない。絶対シメない。

江川 シメるって？

大宅 江川さん知らないの？

江川 うん。

飯野 江川も転校してきたから。ね。

江川 転校？

上田 さ、始めようワックスワックス。

江川 転校って？

飯野 したよね。な。

相川  
あー！

相川、洗剤のボトルを取る。

相川  
ないわ。

飯野  
なんだ。

相川  
あ。

飯野  
何。

相川  
こっちも。

上田  
どうする。

江川  
磨いたことにしよう。

相川  
そうもいかないでしょう。取ってくる。

飯野  
あ、行く。

相川、飯野、洗剤を取りに行く。

大宅、ほうきを片づける。

上田  
（大宅に）なんで声作ってたの？

大宅  
なんかああいう声でいこうかなと、新しい学校では。

上田 なにそれ。

大宅 なんかもあしとくと楽になつて。

上田 楽？

大宅 かわいくなかつた？

上田 まあね。

上田、ほうきを片づける。

江川、上田に近づく。

江川 (上田に) あのさあ。

上田 ん？

江川 大宅さんてさあ。

上田 うん。

江川 うち、どこかな。

上田 さあ。

江川 えー、どこかな。

上田 訊いてみれば。あたしゴミ捨ててくるわ。

江川 えー。

上田 何。

江川 　　いっしょにいて。

上田 　　何。

江川 　　なんかさあ。

上田 　　江川さんて人見知りなの？

江川 　　うん。

上田 　　じゃいるから訊いてみれば？

江川 　　うん。

江川、大宅に近づく。

江川 　　大宅さん。

大宅 　　はい。

江川 　　バナナワニ園行ったことある？

大宅 　　ん？

上田 　　えー？

江川 　　バナナワニ園。

大宅 　　ないけど。

江川 　　あたしも。

上田 　　ないのかよ。

江川 あたしさえ、バナナワニっていう種類のワニがいるんだと思ってたんだけど違うみたいね。

間。

大宅 へえ。違うんだ。

江川 大宅さんもそう思ってた？

大宅 うん。

江川 バナナとワニでバナナワニ園だって。

間。

江川 じゃね。

江川、上田のところに戻る。

江川 いい人みたい。

上田 なんだそれ！なんか話したいことあったんじゃないの？

江川 うん。

上田 行ってくれば。



江川、大宅のところに行く。

江川　ワニといえばさあ。

大宅　はい。

江川　担任、ワニに似てない？

大宅　ああ。

江川　こないだクロコダイルのポロシャツ着ててね。

大宅　うん。

江川　顔もクロコダイル、シャツもクロコダイル。

間。

大宅　(笑う) やだあ、おもしろい。

江川　ゴミ捨ててくる。

江川、ちりとりを持って、ゴミを捨てに行く。

上田　あ、ねえ、たぶん水いるから。

江川 あ、（バケツを持って）はい。

江川、出て行く。

大宅 えーと、あの人。

上田 江川さん。

大宅 おもしろい人だね。

上田 うん。お笑いとか好きなんだって。

大宅 そういう意味じゃないけど。

間。

大宅 クロコダイルってなに？

上田 知らなかったの？

大宅 うん。

上田 ああ、ワニのマークが付いてるシャツとかのブランド。

大宅 ああ。

間。

上田 大宅さん。

大宅 何？

上田 あの、飯野、別に悪気ないから。

大宅 え？

上田 ああいうやつだから。

大宅 うん。よく分かってるよ。

上田 でも、大宅さんもなんか、ちよつと変だよ。

大宅 え？

上田 声、変えてたり。

大宅 ああいうキャラ？

上田 キャラって。

大宅 あたしはさあ、飯野さんと違って、ちよつとあるんだよ。

上田 何が？

大宅 え？

上田 何が？

大宅 ああ、悪気。

上田 何それ。

大宅 いろいろあるんだよ。

4 床を磨く

相川、飯野帰ってくる。

飯野 ただいま。

上田 ありがとう。

相川 江川さんは？

上田 ゴミ捨て。

相川 じゃ、洗剤まくよ。そこのデッキブラシでこすって。

飯野 はい。

相川、洗剤をまく。

みんなデッキブラシでこする。

飯野、上田に近寄る。

飯野 (上田に) なんか話した？

上田 誰と？

飯野 あれと。

上田 あれって。

飯野 なんか言ってた？

上田 何も。

飯野 なんか分かんないな、あれ。

上田 そうだね。

大宅、相川に近づく。

大宅 相川さん。

相川 なに？

大宅 バナナワニ園行ったことある？

相川 あるよ。

大宅 あたし、ないの。

相川 楽しいよ。

大宅 ふーん。

飯野 なぜだ？なぜバナナワニ園？

上田 さあ。

大宅 担任、ワニに似てると思わない？

相川 ま、ちよつと。

大宅 顔もユニクロ、シャツもユニクロ。

相川 何それ？

大宅 あたしもよく分かんないんだけどね。

江川、帰ってくる。

江川 水汲んできた。

相川 ありがとう。

江川 これ（デッキブラシ）で磨けばいいの？

相川 うん。

江川、デッキブラシを手に取り、見つめる。

上田 なにしてんの？

江川、デッキブラシでちよっかいを出す。

上田、負けずにデッキブラシで遊び出す。

上田と大宅、デッキブラシで、フェンシングのまね。

相川 いい加減にして！

飯野 何してる。

大宅 フェンシング。

相川 デッキブラシでつつき合ってるようにしか見えない。

江川 デッキブラシでつつき合う。

上田 はいはいはいはいはい。

相川 何それ。

上田 あるある。

江川 あー！

飯野 なんだよ。

江川 デッキブラシでつつき合う。

上田 うん。

江川 もつとなんかない？

飯野 なに？

江川 もうない？

飯野 あるよ。この子ならいくらでも出てくるよ。

上田 え！

飯野 じゃ、今度はバケツで。

上田 バケツバケツ。

飯野　すぐ出るよ。この子は。

相川　変なプレッシャーだな。

上田　うーん。バケツバケツ。

飯野　はい、どうぞ！

上田　バケツかぶって…いい気持ち。

飯野　少なくともあるあるではない。

江川　バケツかぶっていい気持ち。すごい。

飯野　何が！

江川　これ、七五だ！

相川　なに七五って。

江川　七五だよ、デッキブラシで、七、つつき合う、五。

上田　え？ああ。

江川　バケツかぶって、七、いい気持ち、五。

飯野　だから何。

江川　日本語は七とか五とか合うんだよ。俳句だよ俳句。

上田　俳句じゃないだろう。

江川　上の句を付けければ俳句になるよ。

相川　上の句？

江川　五文字で。



上田 五七五か。

相川 夏休み、とか。

江川 夏休み、デッキブラシでつつき合う。

上田 そう言われてみると俳句だ。

江川 夏休み、バケツかぶっていい気持ち。

上田 うーん。

江川 夏休み、バケツかぶっていい気持ち。なんか味わい深くない？

上田 そう言われてみればそんな気もする。

相川 ね、手も動かそう。

上田 はい。やるやる。

飯野 はい、リーダー。

相川 リーダーって。

飯野 いや、相川に言われると気持ちよく何でも聞きたくなるんだよ。

上田 ほんとだよね。

飯野 俳句の話はまた。

江川 はい。

飯野 今後聞くことはないだろう。

全員、磨き出す。

相川 (上田に) あたし、ああいうのダメなんだよね。

上田 なにが。

相川 俳句とか。あと何て言ったっけ？和歌？

上田 短歌。

相川 何が良いのか全然ダメ。普通に言えば？って。

上田 うん。

相川 たとえ、とかあるじゃん。まるでなににののように、とか言うの。なんでそんなこと言うのか意味が分からない。ていうか何であるのか意味が分からない。

上田 でも、たとえあると分かりやすいじゃん。

相川 足が棒になるって、足って棒？

上田 棒じゃないけど。

相川 そんなの言葉だけだよ。

上田 言葉が全部だよ。

相川 え？

上田 え？

相川 どういうこと？

上田 演劇部だから。台本で言葉だし。

相川 ああ。

上田 全部は言い過ぎか。

相川 台本でさあ、どうしてんの？

上田 みんなで考えたり。まとめるのはあたしだけけど。

相川 台本で、嘘でしょ。

上田 え？

相川 ……

上田 まあ、ほんとにあったことじゃないけど。

相川 嘘じゃん。

上田 ……

相川 よくないよね、嘘は。

上田 うん。

相川 もういいかな。(みんなに) 磨いたら雑巾で拭くよ！

## 5 拭き取り

全員、雑巾がけ。

飯野 これってけっこう大変じゃない？

大宅 飯野さん、はい雑巾。

飯野 声、低いよね。

大宅 うん。

飯野 あたしも低いの。

大宅 そうだよね。

飯野 大宅さん、アニメとか観る？

大宅 え？アニメ？

飯野 うん。

大宅 飯野さん、好きなの？

飯野 え？ううん、あんまり。

大宅 あたしねえ、全然観ない。

飯野 えー！

大宅 なんも興味ないけど、何？

飯野 ああ。

大宅 え？

飯野 そうですか。

大宅 ああ。

飯野 いえ、何でもないです。

飯野、雑巾で床を拭きながら移動。

飯野 (上田に) なんか根本的に間違ってた。

上田 だから言ったでしょ。

飯野 なんなんだあいつ。

上田 ばーか。

飯野 ばーかとか言うなよ。

上田 ばーかばーか。

飯野 ばーかとか言うな。

上田 へーい。

飯野 へーいとか古典的なからかいの言葉を言うな。

上田 へへーい。

飯野 なんだとこの。

飯野、上田の襟をつかむ。

大宅 あー！飯野さん、シメちゃだめだよ。

飯野 シメてないよ！

大宅 シメてたじゃん。

飯野 シメてないよ。上田とは、幼なじみで、いつもこうやってふざけてるんだよ！

大宅 ふざけてたんでしょ。

飯野 うん。

大宅 じゃ、シメてたんじゃない。

飯野 え？

上田 ああ。飯野、ほら、シメるって。

飯野 ああ！

大宅 シメてちゃだめだよ、ねえ、江川さん。

江川 え？飯野さんシメてるの？なにを？

大宅 え？なに？

上田 大宅さん、ほら江川さんも転校生だから。

大宅 ああ。江川さん、シメるってさぼるってことだって。

飯野 ごめん、シメないシメないもう絶対シメないから。

大宅 えー、いいよ、そんなに、ねえ。あたしだって、よくシメるから。勉強なんかすっごいシメるし。ときどきやになって学校シメたりする。

江川 学校シメるの？

大宅 うん。

江川 セコム？

飯野 何言ってるんの江川。シメるってほら、さぼるってことですよ。あの、方言で。

江川 えー？

相川 あのと、掃除しよう。ね、終わらせよう。

上田 はいはいはい。掃除掃除。

大宅 じゃ、みんな、シメないで掃除しよう！

大宅、掃除にかかる。

みんなも掃除にかかる。

相川 だから嘘はよくないんだよね。

飯野 分かりました。よく分かりました。

大宅、江川に話しかける。

大宅 江川さん、いつ転校してきたの？

江川 え？

大宅 やっぱり引っ越してきたの？

江川 え？

大宅 いつ？

江川 年中さん。

大宅 え？

江川 二丁目から。

大宅 へえ。

飯野 さあ、みんなシメちゃだめだよ！掃除掃除。えーい！

飯野、雑巾がけしながら走り出す。

大宅 あたしも！

相川 元気いいなあ。

相川、走り出す。

上田 相川も元気だな。(江川に)やる？

江川 いい。

上田 ふーん。じゃ。

上田、腰を落とし、走ろうとする。

上田 う。



固まる上田。

上田  
わー。

上田、座り込む。

上田  
うわー、来た来た。あ、濡れてるところに座っちゃった。いていていて。

上田、足を上げて転げる。

江川、上田を眺める。

江川、上田と目を合わせるが、目をそらす。

上田  
江川さん。

江川、答えない。

上田  
江川さん。

江川、答えない。

上田、痛がる。

上田 江川さーん。

江川、上田を見る。

上田 江川さん、面倒なことになりそうだから無視しようとしてるでしょ。

江川 なんでわかったの！

上田 いいからちよつと来て。

江川 えー。

上田 いいから来て。そして「どうしたの？」って訊いて。うそでもいいから。

江川 うそでもいいの？

上田 うん。

江川 ちよつと気が楽になった。

近寄る江川。

江川 どうしたの？

上田 足が吊った。

間

江川 ふーん。

上田 ちよつと足伸ばして。

江川、自分の足を伸ばす。

上田 そうじゃなくてあたしの足を伸ばすの！

江川 えー。

上田 うそでもいいから。

江川 …じゃあ。

江川、上田の足を取り、伸ばそうとする。

上田 違う違う違う。そうじゃなくてつま先を、そう、そうやって、ぎゃー！

痛がる上田。

上田 そのいかにもめんどくさい感出しながらはやめて。そう、足を持って、つま先をこう…

どこからピーピー音がする。

江川 あ。

江川、足をいきなり放す。

上田 ぎゃー！

江川、痛がる上田をじっと見て。

江川 あ。ごめん。

江川、自分の腰のあたりを見る。

上田 何？

江川 ちよつと。

上田 何それ。

江川 ポケベル。

上田 えー！

いざりよる上田。

上田 ポケベル持つてるの？

江川 うん。

大宅、走ってくる。

大宅 一番！しかしまた行く。

飯野、走ってくる。

飯野 あいつはえー。ん？どした？

上田 足が吊った。それから江川がポケベル持つてる。

飯野 えー！どうしてポケベル！

江川 携帯は禁止だし。

上田 ポケベルに驚くのは無理ないけど、その前にあたしの足を治して。

飯野 ああ。

飯野、上田の足を伸ばす。

飯野 あのなんていうの、むかしおじさんが腰のあたりにつけてたやつ？

上田 ほんとにポケベルだね。万歩計じゃないよね。

飯野 どうして？

江川 携帯は禁止だし。

上田 なぜ二回言う。

飯野 どうして。

江川 連絡用。

上田 どことの。

江川 悪の組織。

飯野 えー！

江川 嘘。家。

上田 なんでポケベル。

江川 だから連絡用。

上田　　なんで。

江川　　だから携帯は禁止だし。急に連絡が必要な時とか。

飯野　　なぜ携帯じゃない。

江川　　禁止だから。

飯野　　よく分かんないな。

相川、通り過ぎ、Uターンしてまた駆け去る。

上田　　いいフォームだなあ。

江川　　足が上がつてるよね。

大宅、走ってくる。

大宅　　みんなシメてる！

大宅、駆け去る。

江川　　校則は守ることにしてる。(横を向いて) 何があっても。

上田　　校則守るより人助けをして。

相川、戻ってくる。

相川 掃除してよ。

飯野 ごめん。

上田 大宅さんは？

大宅、凄い勢いで戻ってくる。

大宅 みんなシメてる！

飯野 ごめん、シメてた。

上田 それにしてもポケベル。

江川 携帯、禁止だし。

飯野 もうわかんないことはそのままでもいいや。

上田 うん。

飯野 どう？

上田 あ、いい。よく吊るんだ。

大宅 さあ、ワックスワックス。

相川 そうだね。



相川、ワックスのボトルを取る。

相川 バケツ取って。

大宅 えーと。

相川 どれでもいいよ。

## 6 ワックス一度目

相川 えーとね、少しだけワックス付けて一度目は軽く塗る。

飯野 はいはい。

みんなてんでに塗り出す。

飯野 どうする？

相川 何？

飯野 これ、足跡付くとまずいよね。

大宅 あの、向こうから塗ってきたら？後ろ向きで。

飯野 ああ。

相川 じゃ、持ってくか。(バケツを取る)

上田、モップを持ってくる。

上田 四本しかないよ。

みんなモップを取る。

江川 ない！

相川 じゃ、この雑巾洗っといで。

江川 うん。

相川 じゃ、行こう。

四人、バケツとモップを持って歩いていく。

江川 バケツ余ってるんだ。

バケツを手取る。

江川　これ、使ってないよね。

バケツを手に取り、見つめる。

江川　夏休み。

バケツを逆さにし、頭の上上げる。

江川　バケツかぶっていい気持ち。

バケツをかぶる。身をよじって大笑い。

江川　ほんとだ。こりや気持ちいいや。

手を前に出し、踊り出す。

上田、戻ってくる。

呆然として江川を見つめる。

近寄って江川がかぶっているバケツを取る。

上田 何してる。

江川 わー！

上田 バカ。

相川、戻ってくる。

相川 どうしたの。

上田 江川がバケツかぶって踊ってた。

相川 何？

上田 夏休み、バケツかぶって。

相川 いい気持ち。

相川、上田、バケツを見つめる。

相川 ほんとに？

上田 やってみたら。

相川、バケツを見つめる。

相川  
まさかね。

相川、バケツをさらに見つめる。  
バケツを手取る。

相川  
お？

バケツを頭の上上げる。

上田  
えー。

相川、バケツをかぶる。

相川  
おー。

上田  
嘘。

江川、バケツかぶる。

上田  
何してる。

相川、バケツを取る。

上田  
相川さん？

相川、バケツを上田に渡す。

相川  
はい。

上田  
：気持ち、いい？

相川  
：うん。

上田  
そう。

相川  
で？

上田  
でって。

相川  
ほら。

相川、バケツかぶる。

上田  
ええ！。

上田、バケツをしげしげと見る。  
上田、バケツを頭の上上げる。  
上田、バケツをかぶる。

三人、踊り出す。

三人

おー。

飯野、大宅、モップでワックスを塗りながら戻る。

大宅

わー。

飯野

お？

三人、バケツを取る。

大笑い。

飯・大

バカじゃないの。

飯野、大宅顔を見交わす。

飯野 相川まで何してんだ。

相川 ……なんか。

飯野 何。

相川 楽しい。

飯野 嘘！

相川 嘘は言いません。さあ、ワックスワックス。

上・江 はい。

相川 なんか元気出てきた。

飯野 相川がおかしくなった。

相川 あと、このへんだけ？

モップを持って塗っていく。

相川 さあみんなシメてちゃだめだよ！

飯野 どうしたんだ相川。

みんなでワックスを塗る。

上田 あのさあ。足跡付けちゃダメなんでしょ。



相川 うん。

上田 どうする？

相川 ここに居れば？このへんだけ一回塗りにして。

上田 乾くまで？

相川 うん。

## 7 乾くのを待つ

江川 すみません。

相川 何？

江川 トイレ行きたい。

飯野 どうぞ。

江川 はい。

相川 どうぞ、行けば。

江川 通っていいんですか？

相川 え？

飯野 ああー！

相川 何！

飯野 ここ通らないとトイレ行けない！

相川 ええ！

飯野 どうしよう。

相川 我慢して。今トイレ行ったら台無し。

江川 はい。

相川 しょうがないでしょ。ね。

江川 はい。

大宅、江川の顔をのぞいて。

大宅 江川さんが泣いています。

相川 なんです！

大宅 江川さん、我慢しよう、しょうがないよ。ワックス塗っちゃったんだから。

江川 うん。

上田 でもねえ。

飯野 かわいそうだよねえ。

相川 わたしが悪いの！

大宅 我慢しよ、ね。

江川 うん。

上田 ね、泣かないで。

大宅 ああ、かわいそう。

飯野 ワックスかあ。

相川 やめてよいい年してトイレくらいで。

江川 うん。

相川 あー分かった、分かった。いいよ、行きなよ。

飯野 でも、ワックスが。

江川 いい、あたし、我慢する。

飯野 分かった！

飯野、段ボールを持ってくる。

相川 ああ。

全員で飛び石を作る。

飯野 すごい。

上田 これで、トイレ行ける。

大宅 行けるのよ。

江川、飛び石伝いにトイレに行く。

大宅 よかったねえ。

上田 ほんとによかった。

みんなで飛ぶ。

口々に「すごいすごい。」

相川、立ち止まる。

相川 何やってんの、みんな。

全員、立ち止まる。

飯野 自分だってやってたじゃん。

相川 気が付いたらやってた。

上田 あたしもトイレ行ってくる。

大宅 あたしも。

相川 みんな行きたかったのか。

上田 行ってくる。

相川 あたしも。飯野は？

飯野 え？別にいいよ。

相川 じゃ、行ってくる。

みんな、トイレに行く。

飯野 行っちゃった。

飯野、歩き出す。

飯野 足跡。

回り出す。

飯野 足跡。

上田、帰ってくる。

飯野 足跡。

上田、飯野を見ている。

飯野 何見てるの。

上田 別に。

飯野 足跡つけてる。

上田 相川が怒るよ。

飯野 そうだね。

上田 やめなよ。

飯野 いいじゃん。ワックスで何。意味分かんないワックスの。

上田 きれいにするんだよ。みんなで。

飯野 塗るよ。

上田 乾くのが遅れるよ。

飯野 そうだね。

上田 みんなに迷惑かかるよ。

飯野 みんなって何。

上田 みんなはみんなだよ。

飯野 アイウエオ順じゃん、ただの。

上田 みんなはみんなだよ。

飯野 怒ってるんだ。

上田 うん。

飯野 偶然じゃん。

上田 何が。

飯野 ただのアイウエオ順だよ。みんなじゃないよ。偶然だよ。

上田 だったらあたしとユカが近所なのも、仲良くなったのも偶然だよ。

飯野 偶然？

上田 うん。

飯野 あたしだから仲良くなったんじゃないの？

上田 偶然だよ。アイウエオ順だって、近所だって。

飯野 偶然は嫌だよ！

上田 しょうがないじゃん。

飯野 偶然は嫌だ。

上田 大宅嫌ったのも偶然？

飯野 さあ。でもあいつが悪いと思う。

上田 どうして！

飯野 あいつきつとあたしのこと嫌いだよ。

上田 どうして。そんなことないよ。

飯野 あいつはあたしのこと嫌いだ。

上田 いいじゃん、嫌いでも。

飯野 さっちゃんはいつも冷静だよね。

上田 そんなことないよ。

飯野 人が自分のこと嫌いなのは嫌なんだよ。

上田 自分はけっこう嫌がることしてるじゃん。

飯野 それは別だよ。

上田 勝手だよ。

飯野 勝手だよ。

上田 なんだよ。

上田、モップを取る。

飯野もモップを取る。

上田 ワックスかけるよ。

飯野 かけるよ。

二人、ワックスをかけるが、すぐ飯野が上田のじやまをする。  
エスカレーターする二人。



上田  
ちゃんとやろうよ。

上田、ワックスを塗り始める。

8 ワックス二度目

飯野  
やっぱ、トイレ。

飯野、トイレに行く。

上田、足跡を消す。

相川、戻ってくる。

相川  
どうしたの？

上田  
なんかここんどこ、気になって。

相川  
乾くの遅くなるよ。

上田  
もう、向こうの方乾いてるよ。

相川、上田廊下の端を見る。

相川　もう塗ろうか。

上田　うん。

江川、帰ってくる。

江川　あ、塗る？

相川　うん。

江川　さつきやらなかったからあたしやるよ。

江川、モップとバケツを持って歩き出す。

大宅、帰ってくる。

大宅　あ、もう塗る？

江川　うん。

大宅　もう早く塗ろう。どんどんやろう。早く帰りたい。

江川　なんかあるの？

大宅　うん。

江川、大宅歩き出す。

上田 あたし、段ボール片づけるよ。

相川 帰るとき使うから持ってきて。

上田 うん。

大宅の音がする。

大宅（声） あーそこ塗ったー！そこも！江川さーん！

上田 あたし、行ってくるわ。

上田、モップを持って去る。

相川、段ボールを片づける。

飯野、帰ってくる。

飯野 もう塗ってんの。

相川 うん。

飯野 塗るよ。

相川 うん。

飯野、モツプを取る。

飯野 相川ってきつちりしてるよね。

相川 そんなことないよ。

飯野 やっぱ、こういうのちゃんとやらないと気が済まない？

相川 うん。

飯野 まねできない。とても。リーダーって感じ。

相川 リーダーって頭いい人になるもんでしょ。

飯野 そんなことないよ。

相川 ちゃんとやってないよ。何も。

飯野 そんなことないよ。

相川 飯野、ほんとにそう思ってる？

飯野 相川、ほんとにとか言わないでよ。

飯野、モツプを持って去る。

江川、戻ってくる。

江川 大宅さん、今日誕生日だって！

相川 へえ。

江川 すごいね。

相川 どうして。

江川 だって、みんなでこんなに仲良くなった日に誕生日だって。

相川 え？

江川 え？

相川 仲良くなった日？

江川 うん。

相川 …江川さんていい人だね。

江川 え？

相川 いいけど。

江川 早く終わっておめでと言おう。

相川 うん。

江川、去る。

段ボールを片づける相川。

段ボールで「島」を作る。

上田、戻ってくる。

上田 何それ？

相川 島。

上田 え？

江川、大宅戻ってくる。

相川 大宅さん誕生日だって？

大宅 うん。

相川 おめでとう。

大宅 (高い声で) ありがとう。

相川 いいよそれ。

大宅 なんかね。照れるし。

飯野、戻ってくる。

飯野 なにそれ。

相川 島。

飯野 え？

相川 なんか向こうもべたべた塗ってあるし、ここで乾くの待たない？

飯野 うん。

相川 塗ったらこっち。

上田 うん。

ワックスを塗り終わり、段ボールの「島」に集まる。

## 9 島

飯野 狭いよ。

相川 いいじゃん。

江川 あ、大宅さん、今日、誕生日です！

みんな口々に「おめでとー」

大宅 (高い声で) ありがとうー！ (飯野に) あ、ごめん。

飯野 あ、別に、いいよ。全然気にならない。

大宅 こういうの嫌いじゃないの？

飯野 なんか。

江川 じゃ、行きますか。

上田 何？

江川 歌います。せーの。

みんなで「ハッピー・バースデー」を歌う。

江川 おめでとー！

江川、ポケットから紙吹雪を出し、まく。

みんな盛り上がって「おめでとー」

一番先に上田が気づく。

上田 あ。

相川、飯野気づく。

相・飯 あ。

大宅 ありがとうー、うれしー。

江川 いえいえ。



相川 あーあ。

江川、大宅も気づく。

全員、固まる。

飯野 ……なんで紙吹雪なんか持ってるんだ。

江川 ごめん。

飯野 ……なんで紙吹雪なんか持ってるんだ。

江川 ……なんかあると困るからいつも用意してる。

上田 ……紙吹雪は禁止っていう校則なかったかな。

相川 ……ないよ。

飯野 ……どうすんの、これ。

大宅 ……なんか、ごめんね。

上田 ……大宅さんのせいじゃないよ。

飯野 ……どうすんの、これ。

相川 ……取ろう。

上田 ……しようがないね。

飯野 ……こういうのも偶然？

上田 ……そうだね。

江川  
ごめん。

みんなで紙吹雪を取る。

飯野  
あー、べたべたする！

江川  
ごめん。

もくもくと紙吹雪を取る。

飯野  
なんか江川って抜けてるよね。

江川  
うん。

上田  
あんなに成績いいのね。

大宅  
えー！

上田  
それ失礼だよ。

飯野  
学年で一番だよ。

大宅  
えー！

上田  
それ失礼だって。

大宅  
あたし、相川さんがそうかと思ってた。

飯野、上田、顔を見合わせて笑いをこらえる。

相川 笑うなよ。

飯野 だってねえ。

上田 ごめん、飯野、失礼だよ。

大宅 違うの？

相川 逆ですよ。悪いの。

大宅 ごめんね。

相川 謝られると複雑。

飯野 これもう一回ここら辺だけ塗る？

上田 塗るしかないね。

江川 ごめん。

飯野 いいよ。

江川 部活とかいいの？

飯野 いいよ。

上田 足跡でべたべただ。

大宅 でも実はっていうの多いね。

飯野 え？

大宅 実は江川さんが学年で一番とか。

上田 それ失礼だよ。

飯野 実は相川が、ね。

相川 はいはい。気にしてませんから。

大宅 なんかもっと「実は」ってのあるんじゃない？

飯野 なんだそれ。大宅さんの声とか。

相川、モツプを取る。

相川 もう取れた？

上田 これはなかなかいらいらする作業だよ。

江川 ごめんなさい。

大宅 なんか、こうしてても面白くないから、なんかしながらやろうか。

飯野 なんかって？

大宅 告白ごっこ。

上田 「実は」って。

大宅 みんな驚いたら勝ち。

飯野 えー。

相川 苦手だなあ。そういうの。

大宅 なんでもいいんだよ。

相川 告白しなきゃいけないんですよ。

大宅 え？なんでもいいよ。嘘でも。

相川 嘘？

大宅 驚かしたら勝ちなんだよ。

相川 嘘つかなきゃいけないの？

上田 いや、ほんとでもいいんだよ。(大宅に)ね？

大宅 うん。

相川 なんかくよく分かんないなあ。

大宅 ま、やってみましょう。じゃ、あたしから。実はあたし、男です。

上田 ダメダメ。すぐに嘘と分かるのは驚かないよ。はい、江川。

江川 実は、あたし、子ども二人いるの。

相川 え。

上田 ダメ。

江川 驚いた人一人いるよ。

飯野 相川が特別なんだよ。

相川 信じた訳じゃないけど驚いた。

飯野 実は…

上田 何？

飯野 大宅のことが嫌いでした。

大宅 知ってる。

上田 でした？

飯野 まあね。

みんなでモップを取り、ワックスを塗る。

大宅 実は、飯野さんのこと、この分からず屋と思ってました。

飯野 はいはい。

江川 実は、天然ではありません。計算です。

相川 えー。

上田 それはない。

飯野 うん。

大宅 実は、演劇部でした。

上田 えー。

飯野 そんなにインパクトある？

上田 あるよ。

大宅 去年、県大会まで行きました。

上田 じゃ、入ってよ。

大宅 三キロ走るんでしょ。

上田  
すぐ慣れるよ。

江川、駆け出し、戻ってくる。

飯野  
江川は自由だなあ。

上田  
戻ってこーい。

大宅  
告白ごっこするぞ。

江川、戻ってくる。

大宅  
実はあたし…月から来たの！

飯野  
やめろー！

大宅  
すみません。

飯野  
次次。だれ？相川、なんかないの？

相川  
うーん。

上田  
はい、思い切って。

相川  
じゃ、言います。実は、カンニングをしました。

全員  
えー！

相川  
もう最下位は嫌だったので、しました。

飯野 嘘！

相川 嘘はつけません。

大宅 そこまで身を切らなくてもいいよ！

相川 ばれませんでした。

上田 まだ続く！

相川 カンニングをしてもクラスで最下位でした。勉強なんてなんだ！勉強で人の価値が決まるか！学校なんて辞めてやる！って言ってた人より成績が悪かったのですごくへこみました。

みんなモツプをかけ終わり、段ボールの「島」に集まる。

上田 今のすごかったな。

大宅 声出なかったもんね。

飯野 あたし、いきます。

上田 どきどき。

飯野 実は、なぎなた部にイジメがあります。

相川 へえ。

飯野 わたしがいじめてます。

全員 えー！

飯野 後輩一人不登校になりました。



全員 えー！

飯野 つい最近まで自覚がありませんでした。

上田 こんな悪人と付き合ってたのか、あたしたち。

大宅 身を切りすぎだよ。

江川 あの、あたし。

上田 何？

江川 小四の時、夜、家を抜け出して。

上田 あ、不良だ。

江川 一回りしてから家に戻って。

上田 はいはい。

江川 家の窓ガラスに石を投げて割りました。

全員 え！

大宅 今日、けっこう「え」が多いよね。

上田 そりゃ「え」言うよ。

相川 どうして？

江川 どうしてかな。

飯野 で、どうしたの？

江川 割って？

飯野 うん。

江川 割って、一回りして、家に入った。

飯野 ばれなかった？

江川 親に？

飯野 うん。

江川 ばれるもなにも両親見てるから。投げるところ。で、家に帰って、寝て。起きて、学校行って。

上田 ほんとですか。

江川 さあ。

相川 どうなったの。

江川 別に。ガラス屋さんが来たよ。

飯野 なんで割ったの？

江川 それが覚えてないんだよね。三回とも。

全員 えー！

飯野 三回もやったの？

江川 うん。

大宅 なんか目的が違ってきたような気がする。

上田 じゃ、あたしがもう少しポップなやつをいきます。

飯野 はいはい。

上田 あたしこないだインターネット見てて。

飯野 はいはい。

上田　なんかへんなどこクリックしたらへんなどこに入って。

飯野　えー。

上田　十三万円の請求が来ました。親にはまだ言ってます。

飯野　それ、イタイ。

大宅　えーと、あたし、いきます。

飯野　はい。

大宅　実は、先月、転校する前のことですが、おかあさんが死にました。

全員　：

大宅　急性肝炎でした。肝臓です。

全員　：

大宅　アル中です！ときどきあたしをなぐりました。目に当たって、視力が落ちました。お父さんは何もしてませんでした。酔いが覚めると、おかあさんはあたしを抱いて泣くんです。でもすぐお酒を飲みました。おかあさんの顔の色が黒くなって、いっぺんに一〇歳くらいふけちゃって、うちの中は熟した柿のにおいがして。

飯野　なんでそんなこと言うんだよ。

大宅　だって告白ごっこじゃん。

飯野　だからってそんなこと言うことないじゃん！

全員、黙り込む。

チャイム

大宅　ほんととは限らないよね。

飯野　うん。

大宅　やだみんな信じたの？

江川　ねえ。

大宅　なに！

江川　おかあさんのこと、好きだった？

大宅　：

みんな何も言わない。

江川の言葉に「え」と言いたかったが、黙っていた。

大宅　：なんでそんなこと言うんだよ。

大宅が泣いている。

大宅　なんでそんなこと言うんだよ。そんなこと言われると思わなかったよ。

みんな何も言わない。

大宅  
バカ！

みんな、なにも言わない。

大宅  
実は…今のは、泣き真似でした。

みんな、顔を上げない。

大宅  
だから、みんな、「え」って言っていていいよ。

飯野  
せーの。

全員  
え！

大宅  
実は、今のはみんな嘘でした。

飯野  
せーの！

全員  
え！

大宅はまだ泣いている。

大宅  
ありがとう。

ワックスが乾いていく。

上田  
あのね、飯野がね、みんなあいうえお順で集まったただけだって、偶然だって。

飯野  
うん。

上田  
あたしもそう思うんだけどね。てんでんばらばらでね。なんか、まとまること、もうないと思う。ただ、勝手に割り振られてるだけだし。ワックスなんかやりたくもないし。でも、これで、全校ワックス終わると、もう、ワックス乾いちゃうと、たぶんね、また五人集まっても、今日みたいに、この一時間みたいに、もう、あああたし何言ってるんだ？なんか全然まとまりないし、仲良くも、きつと、ないし。でもね、偶然だけど、偶然だって分かってるけど、あたし、みんなのこ  
と、好きだよ。偶然だけど。

飯野  
偶然だよね。

上田  
うん。

みんな、黙り込む。

江川、「島」を下りる。

飯野

江川。足跡。

江川

下りよう。歩きたい。

江川、歩き出す。

相川

一番「え」だよ。今日。

相川、下りる。

飯野

え。

相川

気持ちいい。付いてる付いてる足跡。

飯野

相川。

相川、歩く。

上田

行こうか。

上田、「島」を下りる。

大宅も下りる。

二人、歩き出す。

飯野  
え。

大宅  
来れば？

飯野  
うん。

飯野も下りる。

五人、ぐるぐると回り出す。

チャイム

音楽

相川  
終わりだよ。

飯野  
うん。

上田  
全校ワックス、終わりだ。

江川  
終わりだ。



大宅

終わりだね。

相川

帰ろう。

五人止まる。

照明 F. O

音楽 F. O

音楽 C. I

照明 F. O

五人一列に並んでいる。

礼。

照明 F. O

幕

音楽 F. I